

『夢カフェ 第一回 村上先生によるパン教室』プロジェクト

提案団体：金曜ゆめ倶楽部

代表者：医療福祉学科 2年 盆子原 郁巳

顧問：医療福祉学科 教授 加賀谷 有行

実施計画

実施期間：2013年12月17日（火）

計画概要：【12月10日（火）】学外講師とイベントについて学内で事前打ち合わせを行い、買出しを行うイベント告知ポスターの掲示を行い、募集活動を展開する。

【12月16日（月）】飲み物の買出しを行う。

【12月17日（火）】イベントを開催する。

奨励金額：58,695円

活動目的：パン教室を開催し、学生と教職員の交流や、いつもの友人関係にとどまらない学部・学年を超えた新たな友人づくりのきっかけを学生に提供するため。

達成目標：①参加者がパン教室を通して普段話すことのない学生と交流し、新たな友人づくりのきっかけを提供すること。

②金曜ゆめ倶楽部のPRを行うこと。

活動・成果報告

今回のイベントは、19名が参加した。まず、開始時間までに講師の先生方と私たちで下準備を行い、参加者には仕上げの成形を行ってもらった。講師の先生から成形のコツを説明していただきながら、パンづくりを楽しむことができた。クリスマス前ということもあり、クリスマスをイメージした雪だるまパン等、合計5種類のパンを作った。今回のパン教室の目的である、学生に新たな友人づくりのきっかけを提供するという点において、話しやすい雰囲気づくりが必要であると実感し、私たちから参加者に対し積極的に話しかけるよう努力した。その結果、初めて会った学生同士でも話がはずんでおり、参加者に楽しんでもらえたようであった。友達同士の参加でも他の参加者と話せるように、各テーブルに部員1名と参加者10名を配置し、進行状況や参加者の様子についての共有化を図った。



成長度

1. どのような課題に直面し、（それを乗り越えるために）どんな苦労がありましたか。

パン教室開催前に、大学設備の確認ができていなかったことや、講師の先生との打ち合わせが十分にできていなかった。例えば、パンづくりにお湯が必要であることを、私たちが把握していなかったため、開講前に急遽用意するなど、スムーズに準備を行うことができなかった。

2. その課題をどのような努力や工夫で乗り越えましたか。

講師の先生との打ち合わせが十分にできていなかったため、お湯の準備をしていなかった。しかし急遽、食堂の方に相談して湯沸するためにポットをお借りし、お湯を用意することができた。

3. 自分たち（チーム）が一番成長したところはどこですか？理由もお願いします。

以前の私たちは、このような事態になったら学生課の方に頼っており、自分たちで自主的にしなかった。しかし、今回は学生課の方が近くにいらっしゃらなかったことや、急がなければならない状況だったため、勇気を出して自分たちで動いたことで自発性が身についた。また、私は初めて会う人と話すことが苦手であったが、今回のイベントを通して、開催側である私たちが参加者に話しかけることが多く、積極性が身についた。

4. 企画に参加したパートナーからの感想や気づきを記入していただけてください。

参加者20名という人数設定は良かったです。20名より少ないと寂しいですし、多いと時間的に作れるパンの量が減ってしまうので、次回パン教室を開催する際も同程度が良いのではないでしょうか。今回はクリスマスイメージしたパン教室でしたが、次回はバレンタインをイメージしたパン教室などにもチャレンジされてはいかがでしょうか？

村上 健二 先生



📎 構成メンバー

医療福祉学科 2年 盆子原 郁巳、岡本 夏菜、木村 志帆

